

景観計画って何だろう？

令和5年1月1日に公開された「倶知安町景観計画」。皆さんが疑問に感じそうな事を、じゃが太くんとじゃが子ちゃんに聞いてみました。

質問①



疑問点
そもそも景観って何ですか？



回答

シンポジウムで矢吹さんもお話していたけれど、みんなが眺め、心を動かされる様々な風景のことだよ。良い景観に囲まれて暮らせれば、人は心地よさを感じるし、悪い景観を目にすれば、嫌な気分になるよね。

質問②



疑問点
景観計画って何ですか？



回答

色々な自治体が、より良い景観づくりのために作る計画です。倶知安町はこれまで、北海道全体の景観計画に頼っていましたが、より倶知安らしい景観づくりを目指して、自ら進んで倶知安町の景観計画を作ることになりました。

質問③



疑問点
景観計画には何が書かれているの？



回答

倶知安の自然や農地、まち並みや歴史から生まれるすばらしい景観を紹介しながら、倶知安の景観を守り、育て、未来へ残すために大事な心構えを載せているよ。その他に、倶知安の景観を守るための色々なルールも載せているよ。

質問④



疑問点
どんなルールがあるのかな？



回答

例えば役場3階のテラスから羊蹄山の写真を撮ろうとしても、ビルがかぶって羊蹄山が見えなかったら困りますね！そういった建物の高さや、目に痛い原色をあまり使わないようにするといったルールがあります。また、森の木を切って住宅地を作るような時は、なるべく自然を残して、自然に馴染むまち並みにしよう、といったルールもあります。

質問⑤



疑問点
全ての建物がルールを守らないといけないの？



回答

景観に大きな影響が出る大きなビルやタワーは、ルールに合うように計画段階から役場としっかり話し合う必要があるよ。みんなが普段住んでいる住宅サイズだと話し合いの必要がないけれど、倶知安全体が心地よいまち並みになるよう、ルールをよく知って建てて欲しいな。

～景観室から～みんなで広げよう、景観まちづくりの環！（倶知安町景観室 桜井昌之）



本紙編集のためにシンポジウムの内容を振り返ると、出演者の皆さんが「人」を大切に語っていた事が最も印象に残りました。「景観」といえば、静物画のような風景を前に腕組みして小難しく考える・・・一見そんな印象かもしれませんが、風景に心動かす人がいるから価値が生まれ、その風景には作り手があります。そして、「見る」「作る」共に一人の力は限られますが、人と人の環が可能性を広げます。そう思うと、一昔前のお昼休み長寿番組のフレーズが脳裏をよぎる日々です。

くっちゃん景観だより

第11号 2023年4月発行

お問い合わせ/発行者 倶知安町まちづくり新幹線課景観室
TEL 0136-56-8012 FAX 0136-23-2044 E-mail: keikan@town.kutchan.lg.jp

俱中生による「くっちゃんの将来」の提案！

俱中2年生（現在は3年生）が総合的な学習の授業で、『倶知安の将来』について、校内でまちづくりの“プレゼン（提案）”を行いました。保護者へのアンケート、実際に駅前通りを歩いてのインタビューなど、“行動する力”と“工夫する力”を発揮し、「どうすべきか」という提案を導き出しています。成果のほんの一部をご紹介します。

2年A組2班『倶知安町の町づくり』

倶知安町の良い所

- ・質の良い雪がたくさん降る
- ・スキーの町
- ・じゃがいもが美味しい
- ・自然災害が少ない
- ・羊蹄山が綺麗に見える
- ・自然豊かで空気が澄んでいる

倶知安町を
どうしたいか

テーマ
＜倶知安の良い所に興味を持ち
訪れたいような町にしたい！＞

～理由～

- ・倶知安にしかない良い所を生かして町おこしをしたいと思います！
- ・倶知安に興味を持って欲しいから！

町の良いところをしっかりと見つめた上で、「どうしたいか」という自分たち自身の主体性を大切にしたい提案となっています。

2年B組2班『倶知安町を観光客でいっぱいにする』

倶知安町は今のままで良いのか？

実際に町を歩いてみて思ったこと

- ・道がガタガタ
- ・ゴミが落ちている
- ・道がツルツル
- ・歩道が狭い
- ・活気がない
- ・使われてない建物が多い
- ・などなど

倶知安町に必要なこと

②倶知安町ならではの食事ができるお店をつくる

例えば・・・

- ・町民たちに料理のideaを募集してそれが食べられるお店
- ・釣堀で釣った魚を食べられるお店
- ・天然の冷凍庫の食材を食べられるお店
- ・などなど

現状が果たして良いのか！？そのために、実際にまちを歩いて肌で感じる。そこから、この町に必要なことを提案しています。

2年C組4班『倶知安の強みを生かして活性化させよう』

倶知安の夏の強み

山がきれい
川が綺麗
農産物が盛ん
動物が多い
ジャガイモの花

倶知安の冬の強み

～雪～

◎上質な雪
→(ジャ)パン+(パウ)ダースノー(ジャ)パウと呼ばれている

◎ウィンタースポーツ
→スキーの町として50年前宣言をした

- ・オリンピック選手の出生地
- ・子供もウィンタースポーツに活発に取り組んでいる

生かしきれていない倶知安の強みを把握し、スキー場でのイルミネーションなど、町の魅力を高める提案をしています。

2年D組2班『倶知安を活性化するために』

順位	市町村	収穫量	出荷量
1位	帯広市	111,500 (t)	98,900 (t)
15位	倶知安町	36,200 (t)	31,100 (t)

15位のじゃがいも＝魅力

↓

弱い

- ☒ 倶知安の自然や野菜をいかしたキャンプ場
- ☒ ゴンドラサウナ

＝ 倶知安の強い魅力

YouTubeの人気コンテンツをヒントに、倶知安にあるもので、流行に掛け合わせた新たな魅力づくりを提案しています。

文化福祉センター2階ホワイエにて展示

上で紹介したプレゼン資料（全20作品）をご覧いただけます。提案した資料をもとに駅周辺の未来を予想して生徒が作成したジオラマも展示しています。ぜひお越しください。



4/28
まで



「くっちゃん景観まちづくりシンポジウム」を開催しました

シンポジウムでは、「未来を見つめ、まちづくりを考える～未来へつなぐ羊蹄の輝き～」をテーマに、景観まちづくりについての報告、講師を招いての講演や倶知安町にゆかりのあるパネリストによるパネルディスカッションなどが行われました。

町長のあいさつ

- ・この地域が未来へ向け大きく変化する中、過去→現在→未来の連続性を保ち、ステップアップしながら大きく成長していくことを目指し、景観計画を策定した。
- ・皆様に倶知安の素晴らしい景観を知って頂き、未来に向けて一緒に考えていく場となることを期待する。



倶知安町からの報告「景観まちづくりという言葉」

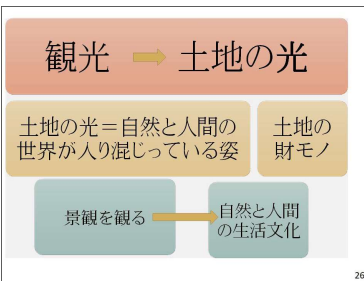
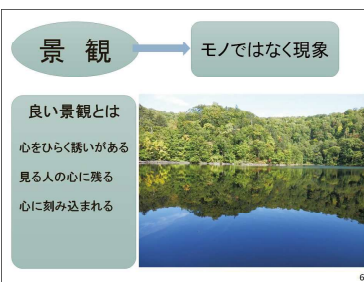
倶知安町まちづくり新幹線課景観室長 桜井昌之

- ・建物の高さや色を規制することや羊蹄山の景色を守ることだけが景観ではない。
- ・農地やまち並み、お祭りや文化遺産等、人の暮らしの中から無数の景観が生まれる。
- ・人の暮らしがまち並みを作る。どんな景観の中で暮らしたいのか、皆さんのイメージが未来のまち並みに影響を与える。



講演「人との景観のかかわり～四季を奏でるふるさとの風景～」

講師：矢吹 俊男 氏（環境省自然公園指導員）



最後に

- ・これからのまち並みを考える時、ボリュームや色、建材を配慮すると共に、家の前に緑を設ける、花を植える、目に付いたゴミは拾う等、身近な場に心地よさの創出を。
- ・倶知安中学生による将来のまちづくり学習の成果を見て、「倶知安町は今のままで良いのか」という提示にドキッとした。生徒達は「誰もが住みやすく楽しめるまち」を理想の未来とした。
- ・景観づくりは大人だけでなく、将来この町に住み続ける子供達が十分理解し、まちづくりに参加する気持ちが必要。景観教育は、これからの学校教育で大きな取組の一つになる気がする。

日時：2023年3月5日（日）午後1時30分～午後4時00分

場所：倶知安町文化福祉センター大ホール



パネルディスカッション「くっちゃんの景観を知り、愛情を育むために私たちができること」

コーディネーター：矢吹 俊男 氏（環境省自然公園指導員）
パネリスト：アーロン・ジャミソン氏（写真家）、小山 正博 氏（倶知安中学校）、川崎 俊治 氏（巽・豊岡 地域資源保全隊）



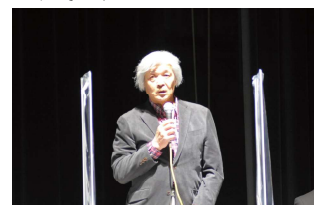
皆さんの取り組み、その中で感じる課題

小山氏



- ・二学年の総合学習で、倶知安を盛り上げるためのフィールドワークを行った。普段通り慣れた道でも、観光客や高齢者の視点で見直すことにより、生徒達は多くのことに改めて気づいた。
- ・最初はファーストフードなど倶知安に無いものを探していた生徒達が、石造り倉庫など今在る施設をどう活かすかと発想を変えていった。
- ・「倶知安を一度出てから戻ってくるまちづくり」が一番のコンセプト。成長期に将来のまちづくりに触れることにより、将来倶知安に戻ってきたいと考える生徒を育てることが教師の役割だと思う。

川崎氏



- ・農地、水路、道路等の維持管理を地域共同で行い、環境保全や景観向上を図っている。
- ・農村部の人だけで活動しているが、沿道のゴミ拾いなどは市街の人にも参加してもらい、懇親会等で親睦を深め、相互理解が進むと良い。
- ・芋の花を撮ろうと畑に足を踏み入ると、病虫害が広がる危険性を知って欲しい。

アーロン氏



- ・倶知安の景観、四季折々の美しさを表すと、まさに「花鳥風月」。
- ・倶知安の景観をより素敵にするためにニセコひらふ沿道のような電線地中化が効果的だと思う。
- ・多くの観光客が道路に停車して風景を撮っている。安全に撮影できる場所が必要。

これから取り組んでいきたいことは？ 人と人とのつながり～

小山氏

- ・倶知安で暮らし、働く人は自然の恩恵を授かっている。古い物＝悪ではない。今ある倶知安の財産の活かし方を考えることで生活空間と自然環境のマッチングが進むのではないかな。
- ・人と人が顔を付き合わせる場をつくるのが教師の仕事。まちの大人が子供を育て、子供が将来のまちづくりに参画し、更に倶知安の魅力に惹かれて来た人が加わり、つながりが深まっていく。

川崎氏

- ・農村部と市街の人々の相互理解が深まれば、農地景観の捉え方も変わってくる。車の多い道道に停車しなくても、横道に入れば安全に停車出来ると知ると、農家の人も知っている人が撮影していれば、声をかけられる。相互理解、お互い様の気持ちが景観づくりの基本。

アーロン氏

- ・倶知安に暮らす我々は幸せである。素晴らしい自然と景観があり、国際リゾートとして多くの人の目に留まる。
- ・住民が倶知安の自然は「資源」と認識し守ること、倶知安に来る人も同じく理解し守ろうとすることが大事。

シンポジウムを聴いた方の声

- ・学校の学びの場で子ども達が様々発想することを上手に取り入れられると良いと思います。
- ・「景観まちづくり」という言葉から建築規制をイメージしていたが、倶知安の歴史を知ることやゴミ拾いなど個人単位でもできることをすることが第一歩だと理解しました。
- ・自然豊かな倶知安に暮らし、美しい羊蹄山と野鳥のさえずりに心地よくウォーキングなどをしますが、足下の見過ごしていたゴミ…矢吹様のお話で、これからは躊躇無くゴミ拾いしたく思いました。

景観まちづくりシンポジウムをYouTubeで配信中!!

公開中

景観シンポジウム当日の会場の様子を、YouTubeで配信しています。是非下記URLかQRコードからアクセスしてみてください。

https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/keikanabout/4721/

